

Yordan Markov gadulka

北川 綾 乃 箏

吉野 弘 志 contrabass

2020 03月21日(土)

開場 13:00 ※ afternoon live

開演 13:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円 + 2drinks order

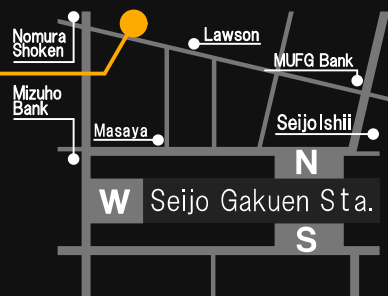
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



北川綾乃

富山県出身。幼少より生田流箏曲・地歌三絃を北川雅楽敏に習う。平成26年東京藝術大学卒業後、同大学院を修了。地歌のもつ言葉の響きや、箏・三絃の多様性に強く惹かれ、古典を追求する一方でさまざまなジャンルの音楽家と活動をともにする。平成27年舞・振付・演出森山開次、作曲・音楽監修笠松泰洋「YUMEJI」で箏演奏。平成30年演出・振付森山開次、作曲笠松泰洋「HANAGO-花子-」の録音にて箏・歌を担当。平成29年利根英法記念邦楽コンクール奨励賞（三位相当）。現在正派邦楽会師範。日本三曲協会、同聲会、森の会会員。
「互」「MANJIRO」メンバー。

ヨルダン マルコフ

1977年、ガドゥルカの中心地であるトラキア地方のノヴァ・ザゴラ市出身。7歳の頃よりガドゥルカを習い始め、17歳には町の舞踊グループのアンサンブルとして活躍。シューメン大学音楽科卒業後、ノヴァ・ザゴラ市の音楽教室でガドゥルカとソルフェージュを教える傍ら、近くの村の子供たちに歌を教えたり、ライブ活動を行う。2006年1月来日、まだまだ日本では馴染みの薄いブルガリア音楽を紹介しようと活動を始め、民俗音楽バンド《BALKAN》などに参加。2016年、アコーディオン奏者佐藤芳明らと共に《ヨルダン・マルコフ・ブルガリア五重奏団》を結成。活動開始から1年経たずに都内ライブシーンで話題となり、翌年1st album 《Iztok》をリリース。

吉野弘志

1955年広島市生まれ。高校卒業後、広島交響楽団の田頭徳治氏に師事しクラシックコントラバス奏法を習い始め、その年の秋に上京してNHK交響楽団の野口武士氏に師事する。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科（コントラバス専攻）に入学。在学中より明田川荘之（piano）トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明（sax）トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦（percussion）トリオ、加古隆（piano）トリオ、山下洋輔（piano）パンジャ・スウィング・オーケストラ、板橋文夫（piano）トリオ、塩谷哲（piano）トリオ、など数多くのグループに参加する。現代音楽の分野での活動も活発で、高橋悠治（piano, composer）、三宅榛名（piano, composer）、吉原すみれ（percussion）等ともしばしば共演。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』『吉野弘志モンゴロイダーズ・ネオ』を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林（揚琴）とのデュオ』、ウッド奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブル Farha』などに参加している。